

## ▼夏季における事故事例抜粋 (令和7年度)

| 発生月日  | 概要                                                            |
|-------|---------------------------------------------------------------|
| 7月17日 | 一人で漁港にて釣りをしていたところ誤って海中転落したものの。(救命胴衣非着用)                       |
| 7月21日 | 海浜公園でサーフィンをしていたところ何らかの原因で海水に引き込まれ溺れたものの。(救命胴衣非着用)             |
| 8月21日 | 操業中、プロペラ軸に絡まったロープの除去作業のため後部甲板上の点検口に上半身を入れたところ抜け出せなくなり溺水したものの。 |



海を安全にするためには、海難事故防止への関心を深めていただくため、例年、「海の事故ゼロキャンペーン」を開催しており、今年は7月16日(木)から31日(金)までの16日間実施しました。宮城海上保安部では、同期間中に開設された管内全ての海水浴場を訪問したほか、他機関(警察署・消防署・地方振興事務所等)との合同海浜パトロールを実施しました。海水浴客に対してパンフレット等を配布し、同キャンペーンの周知活動を行うとともに、海水浴時には離岸流や天候急変などに気を付けて楽しむよう注意喚起を行いました。

## 海の事故ゼロキャンペーン 海難事故ゼロを目指して

海上保安庁では、海難事故防止への関心を深めていただくため、例年、「海の事故ゼロキャンペーン」を開催しており、今年は7月16日(木)から31日(金)までの16日間実施しました。宮城海上保安部では、同期間中に開設された管内全ての海水浴場を訪問したほか、他機関(警察署・消防署・地方振興事務所等)との合同海浜パトロールを実施しました。海水浴客に対してパンフレット等を配布し、同キャンペーンの周知活動を行うとともに、海水浴時には離岸流や天候急変などに気を付けて楽しむよう注意喚起を行いました。



▲合同海浜パトロール (荒浜海水浴場)

## 海の安全教室

in多賀城市市民プール&ピュアスポーツ仙南スイミング

### ▼海上安全ジュニアサポーター認定証を授与される児童



児童は着衣状態で海に落ちたときの対処法として、仰向けの姿勢で浮いて救助を待つ方法のほか、空のペットボトルやクリアボックスなどの身近なものを使用して浮く方法などを行いました。最後に、宮城海上保安部長(代理)・交通課長より海上安全ジュニアサポーター認定証を授与し、海難防止の思想の普及に繋がることができました。

### ▶クリアボックスを使用した浮力体験



### ▶ライフジャケットを着用体験

7月12日(日)に多賀城市民スポーツクラブと協力して多賀城市内在住の小学生以上を対象とし、また、26日(日)には株式会社ピュアスポーツと協力して大河原町在住の小学生以上を対象とし、仙台基地機動救難士と合同で、それぞれ「海の安全教室」を開催しました。

## 海水浴を楽しむために 守って欲しい9つの約束！

気象海象情報  
を入手しよう！

開設された海水浴場  
で泳ごう！

離岸流に  
注意しよう！

子供から離れない！

グループで  
行動しよう！

揺れを感じたら  
迷わず逃げる！

飲酒したら  
泳がない！

休憩はこまめに♡

ウォーミングアップを  
しっかりしよう！

海の事故は  
118番

第二管区海上保安本部  
海の安全推進室

ウォーターセーフティガイド  
海の安全情報  
海水浴事故防止啓発ブック

夏休みを控えた塩釜市立第二小学校の児童に対し、夏季の海難事故防止にかかる出前講座を実施しました。ペープサートを使用して海難事故発生から通報、救助に至るまでの一連の流れを説明するとともに、海で溺れている人を発見した際には速やかに「118番」に通報すること、自分は絶対に助けに入らずのランドセル等を投げ入れることなどを周知しました。また、児童による救命胴衣着用体験や安全啓発に関する〇×クイズ、守ってほしい「9つの約束」の読み合わせを行い、児童の安全意識の向上に繋がる良い機会となりました。



▲安全啓発にかかる  
〇×クイズ



▲ペープサートを使用した  
118番の周知

## 夏休みを控えた児童への出前講座